

1. 学校の教育目標

（学校の理念、教育目標）

- 1 保育に関する確かな専門性と実践力を身につけた保育者（幼稚園教諭・保育士）の育成
- 2 広い視野を持ち、豊かな人間性を備えた保育者の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

（本年度の重点目標と達成計画）

今年度から新たに設けられた3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を遂行することにより、教育目標を達成する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

（1）教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	④	3	2	1
・学校において職業教育としての特色は明確に位置づけられているか。	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

① 課題

すべて適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

・学生便覧をはじめ、ホームページ上でも適宜配信を行い、とくに本校の特色については学内外に周知を図っている。

- ・昨年度、長野県科学振興会科学研究費助成金交付者の中から特に優れている研究として本校実務家教員の研究が選ばれ、今年度秋から冬にかけて県庁と長野県立図書館にてパネル展示された。
- ・学生の卒業研究の一環として、一般の親子に向けて模擬保育室を利用した「あそびの広場」を2回にわたり開催し、手作りままごと道具や手作り絵本などの研究を進めた。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1

・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1

・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1
--	---	---	---	---

① 課題

・保育者を目指す強い意志がなく入学してくる学生がいることが実情である。対応は個別に行っているものの、保育者以外の進路を希望する場合には本人の意思を尊重している。

② 今後の改善方策

・今年度からはアドミッションポリシーを明確に打ち出し、入試の際、受験生に保育者を目指す強い意志があるか確認をおこなっているため、今後退学者は減っていくと予想される。

③ 特記事項

なし

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題ない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

中学生・高校生対象に例年より多く模擬授業など行い、保育者という職業や専門学校について興味関心を深めることができた。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・防災に体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

本館だけでなく、すみれ会館へのWi-Fi環境を整備した。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当のものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

令和6年度より男子学生の受け入れを開始するため、広報活動に力を注いだ。来年度も引き続き周知徹底を図りたい。これからの多様化する社会で生きていく子どもたちへの保育・教育を踏まえ、18歳女子だけでなく、社会人・既卒者など様々な属性の方へ間口を広げ、募集活動を行っている。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか	④	3	2
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

- ・模擬保育室を使って、一般の親子に「あそびの広場」を提供した。
- ・文化祭での一般公開で、地域の親子・幼児・小学生などに向けて遊びのコーナーを設定し、誰でも楽しむことができる活動を行った。300人ほどの参加者があった。
- ・学生が創作した劇や、手作り楽器を使用したパフォーマンスを、地域の幼稚園にて実際の子どもに向けて発表し、現場との交流を図ることができた。

(11) 国際交流(必要に応じて)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
	・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続きがとられているか	4	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

① 課題

要請がないため対応していない。

② 今後の改善方策

要望があれば対応を考えたい。

③ 特記事項

なし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本校が新たに掲げた「教育目標」及び、「3つのポリシー（ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー）」に重点を置いて今年度の教育活動を遂行し、すべての項目においておおむね目標を達成できたと考えられる。

多様化する社会を視野に入れ、様々な視点から「保育」という専門性を捉えて、本校ならではの取り組みができた。前述のとおり、本館以外のWi-Fi環境を整えるとともに、模擬保育室のさらなる充実とその活用を実現できたことは、大きな前進であり、これからの教育活動に更に役立てていきたい。とくに、一般の親子を招いて「あそびの広場」を実施したこと、また、つぐみ祭にて幼児や小学生にあそびのコーナーを提供したことは、地域の子育て支援における第一歩となった。また、学生が創作した劇などのパフォーマンスを実際に幼稚園の園児やその保護者に向けて発表を行うことで、保育現場との連携を図るとともに、より現場に近い学びを深めることができた。

令和6年度より男子学生の受け入れを開始することを含め、これまで行ってきた社会人や既卒者、職業訓練生の積極的な受け入れも継続して行い、様々な属性の方に保育者を目指していただける養成校として広報を行った。パンフレットやホームページに併せて高校訪問や中学生への体験授業などにも力を注ぐことができた。

教員の研究活動では、昨年度外部研究助成金を獲得して行われたマスクに関する研究が、助成金交付者の中から特に優れている研究として選ばれ、長野県庁と長野県立図書館にてパネル展示された。今年度においても、それぞれの教員が研究活動を行い、本校の研究紀要にて公開している。

今後も教育活動・研究活動ともに充実させていきたい。